

2 . 全体評価

(1)全体指標の達成状況

目標	メニュー	全体指標	現状値			目標値			目標年度の報告			備考
			数値	単位	年度	数値	単位	年度	実績	達成率 (%)	年度	
安定供給体制の整備推進	高性能林業機械等の整備	素材生産量(目標値)	987000	m³	R元	1,150,000	m³	R6	908,000	79%	R6	
		素材生産性 (目標値及び増加率)	5.45	m³/人日	R元	5.82	m³/人日	R6	7.31	126%	R6	
	コンテナ苗生産基盤施設等の整備	コンテナ苗の生産量 (増加量)	767	千本	R元	980 (213)	千本	R6	1,849 (869)	189% (408%)	R6	
木材利用及び木材産業体制等の整備推進	木材加工流通施設等の整備	地域材利用量 (増加量・増加率)	474	千m³	R元	594 (120) (25.3%)	千m³	R6	376 (-218) (-36.6%)	63% (-181%) (-145%)	R6	
		素材生産量(目標値)	987,000	m³	R元	1,150,000	m³	R6	908,000	79%	R6	

(注)

- 1 全体指標、現状値、目標値、単位については、事業計画の内容とすること。
- 2 達成率は、目標年度の実績／目標値とすること。
- 3 実績については、その調査方法と調査年月日を備考欄に記載すること。(別様可)
- 4 報告年度については、要領第6の2に基づくこと。
- 5 行については、適宜加除すること。

(2)総合評価

計画主体の評価及び今後の課題とその解決策

目標	本事業により実施した目標の分析とその評価	今後の課題とその解決策
安定供給体制の整備推進	<p>【高性能林業機械の整備】 国内最大規模のLVL工場や木質バイオマス発電施設、隣県の合板工場の稼働により木材需要が高まる中、高性能林業機械の整備により、安定的な供給体制の整備と労働生産性の向上が図られ、労働生産性については目標値を達成することができたが、住宅需要の冷え込みから、素材生産量は目標値を下回っている。</p> <p>【コンテナ苗生産基盤施設等の整備】 再造林を積極的に推進する中で、コンテナ苗木の生産・供給体制の強化が図られたことにより、初期の目標を大きく上回るコンテナ苗が生産され、再造林率の向上に貢献している。</p>	<p>【高性能林業機械の整備】 今後も住宅着工戸数の減少などにより木材需要が低迷が見込まれる中で、作業の低コスト化を図るとともに、木材需要の動向を見極めながら、木材生産活動を進めていく。</p> <p>【コンテナ苗生産基盤施設等の整備】 今後も、再造林を積極的に推進しながら、コンテナ苗の安定供給体制の強化を進めていく。</p>
木材利用及び木材産業体制等の整備推進	高性能林業機械の整備等により、供給体制の強化は図られているものの、住宅着工戸数の減少などにより地域材の需用が低迷したことにより、当初の目標を達成することができなかった。	地域材利用促進対策の取り組みを強化し需要拡大を図っていく。

(注)

- 1 目標ごとに事業評価を分析したうえでその評価について記載するとともに、事業実施上明らかとなった今後の課題とその解決策を記載すること。
- 2 報告年度については、要領第6の2に基づくこと。
- 3 本表には、目標ごとに評価等を記載すること。
- 4 行については、適宜加除すること。